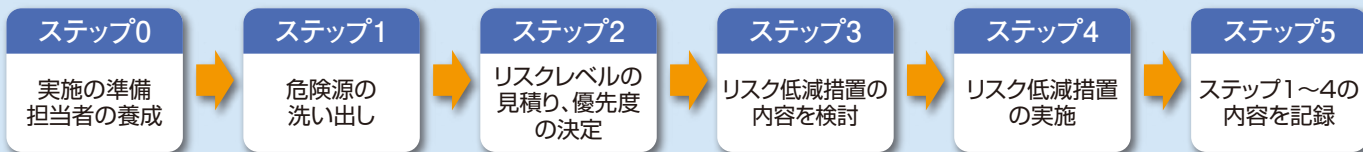
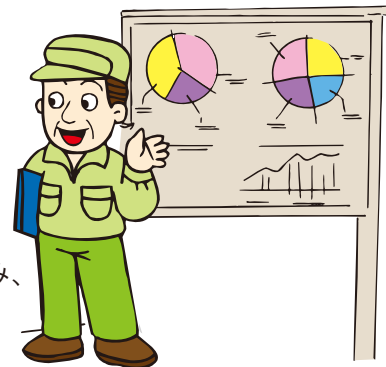


トラックでの荷役作業の

リスクアセスメントを 実施しましょう

安全衛生法令を守るだけでなく、現実の危険を排除しなければ先に起こりうる労働災害を防ぐことはできません。職場全員の「危険」の感受性で、危険の芽を摘み、労働災害を防ぎましょう。そのためには、リスクアセスメントの実施が効率的、効果的ですから次のステップにしたがってリスクアセスメントを進めましょう。



トラックへの荷積み作業でのリスクアセスメント実施事例

● 作業内容

フォークリフトで重量1トン長さ8メートルの鉄筋束をトラックに積み込む作業

ステップ1 危険源の洗い出し

- フォークリフトの荷積み作業での荷台上での合図者が作業中に荷台から墜落する

ステップ2 リスクの評価を行い、速やかにリスク低減措置を講ずる必要があると決定

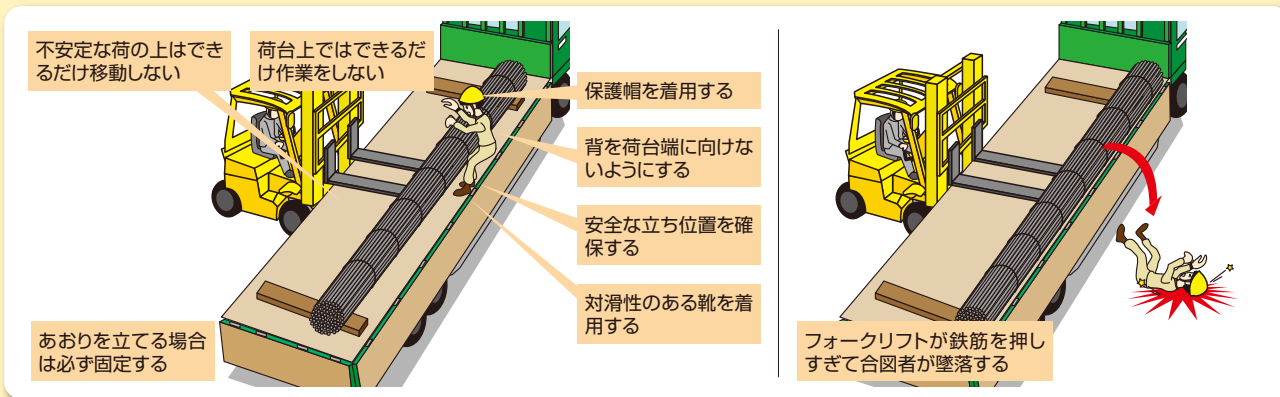
- 上記の作業はいつでもありえるので、いずれも災害発生の可能性が高い
- 墜落・転落は打ちどころが悪いと重症災害になる可能性がある

発生頻度…高
重篤度…重大

ステップ3 リスク低減措置は工学的措置を優先し、管理的対策、個人用保護具の使用を後順位にする

- A 荷台上での不要な作業を減らす・昇降設備を設ける……………①
 - B 墜落時保護用ヘルメットをかぶる・対滑性のある靴を着用する……………②
 - C フォークリフト運転者との連携用の呼び子を持つ……………③
- 実施順

ステップ4 リスク低減措置を実施する



● リスクアセスメント実施結果

作業	リスク	リスクレベル	低減措置	優先順位
フォークリフトの荷積み荷台上で誘導する作業	フォークリフトが荷を押し過ぎて合図していた誘導者が荷台から墜落する	IV 重大な問題あり 発生頻度…高 重篤度…重大	A	①
			B	②
			C	③